

# がん克服 経験や歌披露



住職で歌手 やなせさん講演

## まほろば塾

薬師寺月例

日本人の美しい心や豊かな文化を広く伝える「月例奈良まほろば塾」（読売新聞社後援）が18日、奈良市高取町の教恩寺住職で、シンガーソングライターのやなせななさん（47）が「仏さまのぬくもりに触れる人生」と題して講演。子宫がんを克服した経験などを語り、

まほろば塾 参加した約70人に歌声を披露した。やなせさんは寺で育った視点を生かし、命の尊さを訴える歌を数多く制作。全国600か所以上で法話コンサートを開いている。この日は、29歳で発症した子宫がんについて話した際、同じ経験をした女性が涙を流しながら、「私にも気持ちがわかる」と声をかけてくれた体験を紹介した。

「仏さまの働きは、人との間にも届く。人のために涙を流したその方が私は仏さまに見えた」と話し、「苦しみや悲しみは誰にも代わってもらえないが、他の人を助ける慈悲の種として育てられるかは私たち次第」と呼びかけた。

また、親の子どもへの思いを込めた「おやすみ」や、東日本大震災の支援活動を通して出会った遺族の声を歌詞にした「春の雪」など、自作の曲を披露した。講演は、10月中旬にまほろば塾ホームページで配信される（有料、まほろば塾推進の会会員は無料）。次回は10月16日、奈良市觀光大使の倉橋みどり氏が講演する。

自身が制作した曲を披露するやなせさん（奈良市で）